



国労敦賀第二地区分会

2022年 3月14日 No. 7

発行責任者 佐々木 康

編集責任者 川嶋 庄一

22春闘統一行動



(2022.3.10)



昭和だなあ…

ダセエなあ…

そんなことやっても変わらないよ…

って思うだろう、でもこうやって賃上げを勝ち取ってきたのも事実…

スマホ見ても変わらないよ……ともに声を上げようよ

「我々の暮らしにも目を向けろ」って……

昭和35年生まれ 国労組合員

界限

節目の行動後は決まって酒宴であった。「口下から丸2年、とんと仲間達と酌み交わしていない▼行動の成果は要求の前進、団結がいかに深まったかで評価されるが、彼我の力関係（国政に喩えるなら連立与党VS少数組合）で要求の獲得は？である。しかし統一した行動の後の慰労会は団結を深めるだけ深めた。脱線もままあったが笑い話となつて鉄道人生の思い出となるんでしょう。▼飲めばいいってわけではないがこのスタイルは脈々と先輩方から受け継がれている、国労敦賀車掌区分会はその典型だった。私が青年だった頃は行動はさておき慰労会に参加することが何よりの楽しみであった。▼時代が変わり労働者の価値観も多様化している。それを踏まえて労働者の集まりに参加しないかい？小難しい話は抜きで…